

新・市立根室病院が 仮開院しました



根室市長
長谷川 俊 輔

市民の皆様にとりまして長年の悲願でありました新病院は、去る1月29日に無事、仮開院を迎えることができました。

これまで新病院建設にあたりまして、ご尽力いただきました関係機関、団体の皆様、並びに新病院建設のためご寄附をお寄せくださいました多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

さて、市立根室病院は、市民の医療を守る公的医療機関として地域医療の中心的役割を果たしていますが、旧施設は建設から50年以上が経ち、建物の老朽化が著しく、地域センター病院や災害拠点病院としての機能確保や、療養環境の改善などについて、市民の皆様より強く求められていたことから、新病院建設を市の重要課題と位置付け、新病院の完成を目指してきました。

新病院は、免震構造を採用した鉄筋コンクリート造、地上4階、地下1階建ての135床、延床面積を旧病院の1.2倍となる13,281㎡とし、地域の基幹病院としての役割を確保するため、医療機器等の充実とともにアメニティーの向上を図り、より快適な医療環境を提供できる施設となりました。

地域医療を取り巻く環境は、医師不足など依然として厳しい状況にありますが、今後におきましても、市民が安心して医療を受けられるよう、地域の基幹病院としての機能を十分に発揮できる病院を目指して、診療体制の更なる充実に向けてまいりますので、市民皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日頃より、市立根室病院の診療・運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、市立根室病院は明治5年に官立病院として発足以来140年に渡る長い歴史を誇り、救急医療を含めた地域センター病院としての機能と役割を担い、根室地域の基幹病院として、地域医療の確保に努めてまいりました。



市立根室病院院長
東 浦 勝 浩

1月29日に仮開院しました新病院においては、急性期医療を担う地域の中核病院として最新の医療施設に生まれ変わり、救急医療をはじめ、災害拠点病院として、より高度で良質な医療を効率的に提供する病院として地域完結型医療を目指してまいります。

仮開院前の1月14日に行いました市民内覧会には、1,000名近くの皆様にご来場いただいたところであり、このことは新病院に対する市民皆様の大きな期待の表れであると考えているところであります。

新病院は医療機器整備の充実とともに、今まで以上に快適な療養環境となりますが、仮開院後におきましても安定した診療体制の確立や良質な医療サービスの提供に努めるとともに、当院の基本理念であります「市民に愛され、心の支えとなる病院の実現」を目指し職員一同、新たな決意で邁進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いします。

「がん相談窓口」

市立根室病院では、がん患者さんやご家族の方から診断や治療について知りたいこと、医療費のこと、がんに対する不安や心配についてのご質問やご相談を専門の相談員（看護師等）がお受けしています。

■相談受付日時

毎週木曜日 8時30分～12時30分

■相談窓口

市立根室病院総合案内窓口

（担当相談員が対応いたします。）

ピアサポート「がんサロン」

市立根室病院では、毎月1回ピアサポート「がんサロン」を開設しています。

ピアサポートとは、同じような境遇やよく似た体験をもつ者同士が助け合うことを意味します。ここでは、がん体験者ががん患者さんとそのご家族をサポートします。

がん患者さん、ご家族などどなたでも参加できますので、皆さんで療養体験や気持ちなどを分かち合いましょう。

■日時 毎月1回 第2水曜日 13時30分～15時30分

■場所 市立根室病院会議室

「がん相談窓口」・ピアサポート
「がんサロン」を開設

問い合わせ先 市立根室病院総合案内窓口 TEL (24) 3201番